

JAS Information

協会事業関連資料集 ①

平成24年度事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

本協会は定款の目的に従い、豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造することを目指して、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル（以下オーディオ等）に関する調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集・分析及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関との交流及び協力、ソフト・ハード・出版物の制作・販売等、本協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

平成24年度は創立60周年を迎え、記念事業を行うと共に、日本オーディオ協会が創立された理念に立ち返り、今一度「感動創出」に向けた活動強化が必要ではないかと云う提起を「中期事業検討委員会」で行いました。それには再度、技術的見地によるバックボーンが必要であるとの見解で「放送・通信・新音源検討委員会」及び「技術会議」を新設しました。これらを基軸に協会設立の理念である「良い音を、良い環境で」を基本方針に普及・啓発活動を推進しました。平成24年度に実施した主たる事業は、定款第4条各号に沿った通りであります。

（第1号）オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

オーディオ文化と業界の健全なる成長の為に、より技術的な観点から技術トレンドを見極め、すべてのオーディオ関連分野に於いて、クオリティーの追求と健全なる企業活動の両立を実現するための側面的支援の一環として技術会議を立ち上げました。当面のテーマとして再生音の定位を取り上げ、ヘッドホン使用における頭内定位問題の検討を始めました。また、ソフト・ハード各社から構成されるBDM研究会を立ち上げ、「ブルーレイディスク(BD)フォーマット」の音楽使用の普及に努めました。

（第2号）オーディオ等に関する普及及び啓発

5月1日の「サラウンドの日」には日比谷図書館にて「ホームシアター体験会」を開催。その後も協会にてホームシアターセミナーを3回開催し、ホームシアターの普及啓発活動をしました。「音の日」には「音の匠」の顕彰を通じて音の世界の素晴らしさを認識していただくための活動を行いました。「オーディオ・ホームシアター展（音展）」では協会主催の各種セミナーや生録会、青少年向けの啓発活動を実施しました。音展期間中「音のサロン」では良い音楽を良い再生環境で楽しむためのライフスタイル提案を行ないました。

（第3号）オーディオ等に関する基準の作成

一般社団法人電波産業会 スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班が策定した、デジタルテレビ放送における番組の全体的な音声レベルをコントロールし、音声レベルを最適化する「デジタルテレビ放送におけるラウドネス運用規定の国内標準化」を、「60周年記念式典表彰」にて協会大賞として表彰し、健全な視聴環境作りに協力しました。

（第4号）オーディオ等に関する情報の収集・分析及び提供

会報 JAS ジャーナルを隔月で6冊発行しました。更に、音の日12月6日には60周年記念特別号（通巻419号）を印刷物として発行しました。JAS ホームページでは JAS ジャーナルの配信、音展関係を含めて年間約70万ページビューの利用がありました。ホームシアターサウンド Web はホームシアター普及に向け、より具体的な情報を提供するサイトとして運営し、年間約45万ページビューの利用がありました。

(第5号) オーディオ等に関する展示会及び啓発に関する催事の開催

「オーディオ・ホームシアター展」(音展)を平成24年10月19日～21日に秋葉原UDXと富士ソフトアキバプラザにて開催しました。出展社数82社、来場者数27,500名とこれまで4回の秋葉原での開催の中で最高を記録しました。多くの方々にオーディオ等の最新情報の提供や視聴体験会、セミナーを実施しました。

(第6号) オーディオ等に関する人材の育成

ホームシアター市場の健全な普及に向け、ホームシアター関連の販売従事者、建築士、インテリアコーディネーター、インストーラー等に役立つデジタルホームシアター構築のガイドライン作成と人材の育成のための「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座を平成22年より開催し、平成24年度には6回開講し今までに110名の合格者を認定しました。

(第7号) オーディオ等に関する内外関係機関との交流及び協力

第19回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催し、最優秀3作品と優秀10作品の合計13作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを「音の日」に表彰しました。

(第8号) オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つCD、DVD等の販売を行いました。また、60周年記念事業として「音でたどるオーディオの歴史」CD(非売品)を制作し、JASジャーナル60周年記念特別号の特別付録として配布しました。